

第5回

万葉の郷とつとりけん

全国高校生短歌大会

日時 令和五年十一月四日(土)

午後一時半から

会場 とりぎん文化会館 第一会議室

■主催 鳥取県

■後援 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社
新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ
テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 いなびぴょんぴょんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社
(順不同)

とっとり県民カレッジ連携講座、第21回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2023参加事業



次 第

司会 濱井 丈栄

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 準決勝

題 先鋒「紙」、中堅「深」、大将「食」

第1回戦

立教池袋Aチーム(立教池袋高等学校) × 光合成朝ごはん(宮城県気仙沼高等学校)

第2回戦

海月LIFE(高田高等学校) × 名古屋高校文学部(名古屋高等学校)

4. 決勝

題 先鋒「古」、中堅「立」、大将「波」

5. 講評

6. 表彰式

【休憩】

7. 短歌トークセッション

審査員

チーム部門

本選大会



大辻 隆弘氏

『未来』編集発行人・選者。
現代歌人協会会員、現代歌人集会理事、日本文藝家協会会員、中部日本歌人会副委員長。
第29回斎藤茂吉短歌文学賞、第12回島木赤彦文学賞、第3回佐藤佐太郎短歌賞、第15回小野市詩歌文学賞(短歌部門)を受賞。
歌集『景德鎮』『樟の窓』評論集『近代短歌の範型』など著書多数。
2019年度NHK短歌選者。高校教諭(国語科)。



穂村 弘氏

歌人。1962年札幌市生まれ。短歌のほかに評論、エッセイ、絵本、翻訳などを手がける。
著書に『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』『ラインマーカーズ』『はじめての短歌』『世界音痴』
『野良猫を尊敬した日』など。
『短歌の友人』で伊藤整文学賞、『鳥肌が』で講談社エッセイ賞、『水中翼船炎上中』で若山牧水賞を受賞。
近刊に『シンジケート 新装版』がある。



江戸 雪氏

1993年に短歌を始める。河野裕子のもと「塔」短歌会にて活動した後、2021年夏に同人誌「西瓜」、
2022年夏に同人誌「Lily」創刊。大阪市咲くやこの花賞文芸部門受賞。
歌集は『昼の夢の終わり』『声を聞きたい』『空白』ほか7冊あり、入門書『今日から歌人!』がある。
情感豊かで先進的な作風は、性別や年齢層を問わず共感を得ている。大阪市在住。

チーム部門

予選



大森 静佳氏

1989年岡山市生まれ。高校時代に短歌と出会い、大学在学中に第56回角川短歌賞を受賞。
歌集に『てのひらを燃やす』『カミーユ』『ヘクタール』、評論集に『この世の息 歌人・河野裕子論』がある。
2018年から笹井宏之賞の選考委員を務める。「塔」短歌会編集委員。



小島 なお氏

「コスモス」短歌会所属。歌人である母、小島ゆかりの影響を受け、高校生のとき、短歌を詠み始める。
2004年、角川短歌賞受賞。2007年、第一歌集『乱反射』(角川書店)刊行。本書により、第八回現代短歌新人賞、第十回駿河梅花文学賞を受賞。
同年、第二歌集『サリンジャーは死んでしまった』(角川書店)刊行。2020年、第三歌集『展開図』(柘書房)刊行。2022年、千葉聡との共著『短歌部、ただいま部員募集中!』(岩波書店)刊行。
2016年、2020年「NHK短歌」選者。日本女子大学非常勤講師。信濃毎日新聞歌壇欄選者。
2023年、第一歌集『乱反射』新装版(書肆侃侃房)刊行。

出場チーム自己紹介

※準決勝対戦順



立教池袋Aチーム

立教池袋高等学校
(東京都)

おかべ ゆうじ もちづき りく おばた よう
3年 岡部 優司 3年 望月 陸玖 3年 小幡 曜

このチームは学年も同じ、部活も同じ、という集まるべくして集まった3人のチームである。〈この世をば我が世と思う望月の欠けたることもなしと思へば〉の望月。無水カレーをよく作っているので恐らくオクラカレーも作れる岡部。そして「やんごとなき雅なお子様」というおじやる〇と同じ称号を戴く小幡。このように全員がこの万葉の郷、鳥取に通ずるような不思議な縁を持っているのだ。ご笑覧あれ。



光合成朝ごはん

宮城県気仙沼高等学校
(宮城県)

はたけやま しんぺい さとう こんの とわ
1年 畠山 慎平 1年 佐藤 みちる 2年 昆野 永遠

気仙沼高校文芸部は2年生1名、1年生4名、顧問1名の計6名で、幅広く創作活動を行っています。今回出場する1年生の2人は短歌歴半年にも関わらず、既に多くの大会や歌会に出ており、1年生とは思えないしっかりぶりにいつも助けられています。逆に2年生は2年生とは思えないほどうっかりしていて申し訳ない限りです。この大会は初出場ですが、短歌が大好きな3人と顧問とで楽しみたいと思います。頑張ります。よろしくお祈いします。



海月LIFE

高田高等学校
(三重県)

かんた みさき はるた ゆうか かとう はるか
1年 神田 実咲 2年 治田 優花 2年 加藤 晴香

こんにちは。「海月LIFE」です。3人のうち2人が昨年出場した「高田PLANTSII」のメンバーだったため、一時は危うく「高田PLANTSIII」になるところでしたが、紆余曲折の末に新しいチーム名が生まれました。昨年よりパワーアップした新しい高田です。各々の強みを活かし、課題やテストに泣かされながらもぎりぎりまで練り上げました。そんな短歌を片手に戦おうと思います。

追記:日本海、今年こそ触ります!



名古屋高校文学部

名古屋高等学校
(愛知県)

ふくた たくと はっとり りょうた かのう きいち
1年 福田 匠翔 2年 服部 亮汰 2年 加納 輝一

名古屋高校はバンテリンドームの側に位置し、創立136年の歴史と伝統に溢れる中高一貫校の男子校です。名古屋高校「文学部」はその名の通り、実際の和書を紐解く古典研究をはじめとする研究を重視し、また、小説執筆だけではなく作品研究や評論も志向した、「文芸部」とは一線を画した部活です。

短歌ではそれぞれのメンバーが自分の好きな短歌や書きたい短歌を信じ、31音を信じ、優勝目指して頑張ります!

準決勝作品

| 第2回戦 | | | | | | 第1回戦 | | | | | |
|-----------------------------|------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 先攻 海月LIFE (高田高等学校) | | | 後攻 名古屋高校文学部 (名古屋高等学校) | | | 先攻 立教池袋Aチーム (立教池袋高等学校) | | | 後攻 光合成朝ごはん (宮城県気仙沼高等学校) | | |
| 大将 | 中堅 | 先鋒 | 大将 | 中堅 | 先鋒 | 大将 | 中堅 | 先鋒 | 大将 | 中堅 | 先鋒 |
| 隣席の親子の食べてる定食が花火のようでおばちゃんを呼ぶ | 古代より流るる塩分濃度にて腹の底に深海魚見ゆ | 薄ぺらい紙と一緒に剥がされるまではあなたはカステラだった | もう髪を染めないと言う姉の食う冷やし中華にのっぺりとハム | ビー玉が欲しくて割ったラムネ瓶破片に海の深淵のある | 道端の紙飛行機は0点のテストあるいは誰かの恋文 | スーパーのパンをスーパーパンと呼ぶ食べ方いつもスーパーな人 | 輝きを知らないままで深海も布団の中もやさしい寝息 | 哲学がしきりに旅に出なさいと脅してきてさ 紙の自転車 | シロナガスクジラにあなたと食べられて勝手に住所をつくって棲みたい | 深淵を望遠鏡で覗く君吞まれないよう裾をつかんだ | 直るわけないと知っても撫でているプロフィール帳背表紙の傷 |
| 加藤 晴香 | 治田 優花 | 神田 実咲 | 加納 輝一 | 服部 亮汰 | 福田 匠翔 | 小幡 曜 | 望月 陸玖 | 岡部 優司 | 昆野 永遠 | 佐藤 みちる | 畠山 慎平 |

個人部門 特別賞

個人部門では、自由題の短歌作品を募集し、全国から四六二首の応募がありました。特別賞は五名の審査員に一首ずつ選定いただきました。

大辻隆弘審査員選

木枯らしを食べて元気になりましたあなたの息は数倍甘い

滋賀県立膳所高等学校 二年 池田 玲亜

穂村弘審査員選

音読をあてられキミは目を覚ます風にながれる塩素の匂い

鳥取県立鳥取東高等学校 二年 中島 幹太

江戸 雪審査員選

二学期テストに励む君の背を見て考えるトリユフは好きかな

鳥取県立鳥取東高等学校 二年 土居 美佳

大森 静佳審査員選

クロールの推進力が欲しいから水彩絵の具の青を手取る

神奈川県立光陵高等学校 一年 猪野田 涼奈

【大森静佳審査員 講評】

水彩画を描いている場面でしょうか。「クロールの推進力」がほしいとき、水を飲むとか水に入るとか「水」と仲良くなる方法は他にもいろいろとありそうなところ、水の色や絵の具を手を取ったというところに不思議な飛躍と説得力があります。上の句はそのままクロールの記録を伸ばしたいとも読めますが、クロールのような推進力と解釈して、この世界をぐんぐん泳いでいける強さを希求する気持ちを読み取りたいです。心細さを抑えて自分自身を励ますような。「推進力」という硬質な言葉が理知的なアクセントでありつつ、幻の「水」のイメージを眼前に呼びだしてのびやかな広がりのある一首。青春性を感じさせるとても魅力的な短歌でした。

小島なお審査員選

朝起きて学校行って夜に寝る狭い世界で泣かないでくれ

東京家政学院高等学校 一年 武富 愛音

【小島なお審査員 講評】

学生生活は毎日同じルーティンで過ぎてゆく。日々の中身がどれだけ充実しているかが、退屈だろうが、「学生」という枠の中で生きるかぎり変わらない。同じ始業時間、時間割、制服、クラスメイト。「狭い世界」には、たぶんそれなりの安心や安心が担保されている。けれど、日常と異なる出来事がひとたび起こると閉ざされた世界は大きく揺らぐ。なぜその人は泣いているのか。どうしたらいいのか。気持ちをわかってあげたいのに、悲しみに触れるのは怖い。「狭い世界」ゆえ、その悲しみは私の悲しみにも繋がっているのだから。こちらまで泣きたくなるような結句の命令形がきりきりと痛む。

入選

チーム部門

選者 大森静佳氏
小島なお氏

君という色紙にはもう空気がない 私という色紙には何も無い

青森明の星高等学校 二年 黒瀧 晶

深淵を望遠鏡で覗く君吞まれないよう裾をつかんだ

宮城県気仙沼高等学校 一年 佐藤 みちる

哲学がしきりに旅に出なさいと脅してきてさ 紙の自転車

立教池袋高等学校 三年 岡部 優司

輝きを知らないままで深海も布団の中もやさしい寝息

立教池袋高等学校 三年 望月 陸玖

病室の空を飛びたい折り紙のピンクの羽を駆ける大好き

神奈川県立光陵高等学校 一年 鳥野 空音

雨粒の死期ばかり見てこの空の一番深いところを知らず

神奈川県立光陵高等学校 二年 池野 弘葉

十七の深さを春に問うている前髪を手で整えながら

神奈川県立光陵高等学校 二年 檜下 小春

もう髪を染めないと言う姉の食う冷やし中華にのっぺりとハム

名古屋高等学校 二年 加納 輝一

隣席の親子の食べてる定食が花火のようでおばちゃんを呼ぶ

高田高等学校 二年 加藤 晴香

古代より流るる塩分濃度にて腹の底に深海魚見ゆ

高田高等学校 二年 治田 優花

四足のつつかけ並べ月食の写真撮る姉姉を撮る父

大阪府立咲くやこの花高等学校 一年 柴田 さえ

個人部門

選者 大森静佳氏
小島なお氏

真っ暗な廊下を照らす蛍光灯が無限に続くような二時半

宮城県気仙沼高等学校 一年 昆野 瑠音

じいちゃんが旅立った夜金星のとなり知らない星を見つけた

宮城県気仙沼高等学校 一年 佐藤 みちる

共食いのウーパールーパー 右足がない分あなたをちゃんと愛せた

宮城県気仙沼高等学校 二年 昆野 永遠

君のボタン欲しいと言えず色紙書く桜色したこれが春だなんて

茨城県立結城第二高等学校 二年 富田 真綾

やわらかな紙風船に吹き入れる僕らが生きる理由と証

星野高等学校 二年 金光 舞

君からの転校話は突然にスイカの種と好きが絡まる

星野高等学校 三年 佐野 史絵那

いつもより一本遅いバスに乗る 窓に誰かが寝てた痕跡

東京都立豊多摩高等学校 三年 佐藤 七海

改札の中のひよこは昨日からおとなになった君に鳴かない

東京都立豊多摩高等学校 三年 浪花 小楨

絵を見ずにコアラのマーチを食べるような罪を重ねてばかりの日々だ

東京都立武蔵高等学校 一年 安田 湖夏

ロイコクロリディウムが見ていた白昼夢 半壊の折り畳み傘を手にして

渋谷教育学園渋谷高等学校 一年 植山 魁

朝起きて学校行って夜に寝る狭い世界で泣かないでくれ

東京家政学院高等学校 一年 武富 愛音

一匹狼連合をつくろう狼たちの絶滅前に

立教池袋高等学校 三年 小幡 曜

クロールの推進力が欲しいから水彩絵の具の青を手取る

神奈川県立光陵高等学校 一年 猪野田 涼奈

昼寝はね酢豚の中のパインくらいなくちゃならないですよ先生

神奈川県立光陵高等学校 一年 佐野 晃太

フィボナッチ数列が好きと言う君は深海魚より生態不明

神奈川県立光陵高等学校 二年 坂本 桃花

友達のくれた紙鉄砲が響く夕陽まみれの虚ろな帰路に

高田高等学校 二年 加藤 晴香

着古した「仕方ないよ」を身につけて深海みたいな夜で馬鹿ンス

高田高等学校 二年 治田 優花

「スプートニクの恋人」をアイマスク眠る彼女の白い上靴

立命館高等学校 三年 尾島 蓮瑛

君は言うクラゲになれたらいいのと忘れる気など一つもないのに

鳥取県立鳥取東高等学校 一年 田中 笑瑠

いないはず分かっているも見つめてる空にのぼった猫を探して

鳥取県立鳥取東高等学校 一年 田中 萌花

木の下で雲を見つめる目を閉じて黒い世界で時が流れる

鳥取県立鳥取東高等学校 一年 徳本 美佑

授業中大きな空を見上げると私みたいに眠そうな雲

鳥取県立鳥取東高等学校 一年 山根 映

すすります。つゆが跳ねるも気に留めず青々とした午後一時のこと

鳥取県立鳥取東高等学校 一年 山根 健翔

返却日明日に迫った推理小説いまだ事件もおこっていない

鳥取県立鳥取東高等学校 二年 小谷 夏楓

音読をあてられキミは目を覚ます風にながれる塩素の匂い

鳥取県立鳥取東高等学校 二年 中島 幹太

何回も靴を逆さにしてみても離れられない鳥取砂丘

鳥取県立鳥取東高等学校 三年 井上 貴証

夢を見てほおをたたいて目を開く18歳の深夜、関ヶ原

鳥取県立鳥取東高等学校 三年 上野 桜

夏服の袖のトンネルとおり抜けちよつとひりつく新しい私

鳥取県立鳥取東高等学校 三年 荻野 風花

十人で補助席に出すトランプは私がいちばん早く上がった

鳥取県立鳥取東高等学校 三年 尾崎 愛奈

窓を見る太陽隠す一軒家机に向かう僕は受験生

鳥取県立鳥取東高等学校 三年 谷口 貴一

水中の絵の具のように変化する茜色の雲部活帰りに

鳥取県立鳥取西高等学校 一年 松田 紗季

泣きながら微笑んでいる不器用な君を器用にしたのは僕だ

鳥根県立出雲高等学校 二年 伊藤 葵

秋風を待っていたんだ落ち葉たちいつせいに舞い雀になった

第一学院高等学校 三年 日高 優衣

冬の日の凍てつく空気僕だけに肺の在処を覚えてくれる

昭和薬科大学附属高校 二年 平岡 しいな



大会PRキャラクター
あおや かみじろう

第36回全国健康福祉祭とっとり大会

ねんりんピック はばたけ鳥取2024

咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花

令和6年10月19日(土)~22日(火)

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は60歳以上の方が参加する交流大会をはじめ、すべての世代の方が楽しむことのできる、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。

- ◆県内全市町村を会場にスポーツ・文化29種目開催！
- ◆特産や観光PR、グルメやステージイベントなどの「ふれあい広場」、地域文化・郷土芸能の披露「地域文化伝承館」、「美術展」や「音楽文化祭」、健康関連イベントなど、誰もが楽しめる多彩な催しを同時開催！

ご来場ありがとうございました

